

2020・小学校低学年「タヌキのきょうしつ」

□私は学校で勉強することが、すきです / きらいです / めんどくさいです / すきでもきらいでもありません。

□「がっこうでべんきょうすることはとてもだいじさ」とお母さん / お父さん / おとな / せんせい が言っても
とっていました。

□もし私がタヌキの子どもで、学校に行かなくていいと言われてたら
とってしまいます。 / と考えるかもしれません。

□タヌキのお父さんはタヌキの子どもたちにべんきょうをおしえます。私は
と思うかも / するかも / と言うかもしれません。

□もしおなじクラスにタヌキの子どもがいて、いっしょにべんきょうすることができたら
とを考えました。 / と思いました。

□タヌキのお父さんは「べんきょうって、なんておもしろいんだ！」とべんきょうにむちゅうになります。

□私はタヌキのお父さんほど、むちゅうでべんきょうをしているかなと考えました。私は
だと思いました。

□私が一番ドキドキした / びっくりした / 悲しくなった / 感動した / 楽しくなった 場面 / セリフ は、
です。

なぜなら、
だからです。

□せんそうがはじまって、タヌキたちもいなくなり、まちもがっこうもなくなってしまいました。
私は
と思いました。

□せんそうでまちがまるやけになりましたが、なん年もかけて、ひろしまはへいわなまちによみがえりました。

□へいわになり、タヌキの子どもたちはおでんやさんにあらわれました。私は
と思いました。

タヌキたちのこと / はっぱのおかねのこと を何も言わないおでんやさんのおじさんは
だと思いました。

□この本を読むまでは、がっこうでべんきょうすることはあたりまえのことだと思っていました。でも、
と考えました。 / と思いました。

□この物語を読んで、がっこうでべんきょうするということが
だと思えるようになりました。